

# 諸外国の教育課程の動向

## 1. 国立教育政策研究所における諸外国の教育課程に関する調査

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、我が国の教育課程の基準の改訂に係る検討に資する基礎資料の収集を目的とするプロジェクト研究を継続的に実施し、諸外国の教育課程改革の動向や国内の先進的な実践研究の成果の分析等、学校カリキュラムに関する理論的・実践的検討を行っている。

## 2. 諸外国・地域の教育課程に関する調査内容

諸外国・地域等の教育課程の基準について、①教育課程の基本的な枠組み、②近年の改革動向、③日本の今後の教育課程改革に参考となる特徴的な事例、を中心に調査。2022年3月に報告書刊行。

『諸外国の教育課程改革の動向』 [https://www.nier.go.jp/05\\_kenkyu\\_seika/pdf\\_seika/r03/r03a\\_2-1-05\\_honbun.pdf](https://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pdf_seika/r03/r03a_2-1-05_honbun.pdf)

## 3. 調査対象国・地域・機関

アメリカ合衆国・カナダ・イギリス・ドイツ・フィンランド・フランス・オーストラリア・ニュージーランド・シンガポール・中国・韓国・台湾・IB（国際バカロレア）

# 諸外国の教育課程（1）育成を目指す資質・能力

## 育成を目指す資質・能力や人間像の明確化

- 国・地域や州が策定する教育課程の基準では、育成を目指す資質・能力が明示されるようになっている（イギリスを除く）。また、現代社会で求められる諸価値（責任、尊重、寛容等）が目標に盛り込まれている国・地域が多い。
- 教育課程を通して育成を目指す具体的な人間像を示す国もみられる。例えば、「教養のある市民」（カナダ・BC州）、「活動的で教養のあるコミュニティの構成員」など（オーストラリア）、「自律した学習者」など（シンガポール）、「自身の進路と人生を開拓する自己主導的な人」など（韓国）、3～4つの具体像が描かれている。
- 育成を目指す資質・能力として、知識・技能や思考力のほか、学び方・自己調整などメタ認知に関するもの、社会・情動的能力などが、複数の国・地域で挙げられている。
- フィンランドでは、2019年改訂の高校教育で、汎用的能力の一つとして「ウェルビーイング・コンピテンス」を導入。

## 全人教育的アプローチ（育成する資質・能力に態度や諸価値・非認知能力を含める）の進展

**オーストラリア**：「全てのオーストラリアの若者が、学習者として成功し、自信のある創造的な個人となり、活動的で情報に精通した市民となるよう支援する」（メルボルン宣言[2008] → アリス・スプリング教育宣言[2019]へ継承）

**シンガポール**：教育課程に「中核価値」「21世紀コンピテンシー」「社会・情動的コンピテンシー」を位置付け。育成を目指す市民像（自身ある個人・自律した学習者・積極的な貢献者・参画する市民）に関連付ける。

**フランス**：学校教育で育成する「知識・コンピテンシー教養の共通の基礎」（2015年）の5領域の一つに「個人と市民の育成」がある。「感受性と意見の表現」「規則と権利」「省察と判別」「責任、参加とイニシアティブ」で構成。

教科等を越えて育成する資質・能力として、「個人」に関わる資質・能力では、自律・自主性、レジリエンス、心身の自己管理や成長（生涯学習・キャリア形成）、創造性、「他者との関わり」に関しては、コミュニケーションや協同、議論、「社会との関わり」では、責任、市民性、参画、多文化意識が、複数の国・地域で挙げられている。

# 諸外国の教育課程（2）近年の動向・議論

## 近年の改訂動向

- 育成を目指す資質・能力を汎用的（教科等横断的）なものと同教科固有のものに整理して示す国がみられる。
- 各教科の内容構成・示し方について、当該教科の学習の中核となる「概念」の下で再整理する動きがみられる。
- 伝統的に学校裁量の大きい国（イギリス・カナダ・ニュージーランド・オーストラリア）において、各学校のカリキュラム開発を支援する仕組み（オンライン支援ツールなど）の一層の充実が図られている。
- アジア諸国・地域でも、教育課程編成における学校裁量を広げ、柔軟なカリキュラム編成を支援する傾向がみられる。

## 2022年に改訂が行われた国（オーストラリア、韓国、中国）の事例

**オーストラリア**：2022年1月から新カリキュラム（オーストラリアン・カリキュラム version 9.0）を実施。

- ・ 〈7つの汎用的能力〉、〈8つの学習領域（※教科に相当）〉、〈3つの領域横断的優先事項〉で構成するカリキュラムの三層構造を継承しつつ、汎用的能力と領域横断的優先事項を「学習領域」に統合して示した。
- ・ 8つの学習領域全てで、「核となる概念」に焦点を当てて内容を整理。
- ・ 各学校のカリキュラム開発に必要な授業例や教材等の情報を提供するウェブサイトを教員が活用しやすいように整備。

**韓国**：「2022年改訂教育課程」を公示（2022年12月22日）。2024年度から段階的に導入予定。

- ・ コンピテンシー（核心力量）育成の方針を継承。
- ・ 学校及び生涯にわたる「学習の基礎となる力」として、言語、数理能力に加え、デジタル素養を位置付け、情報関連教育（デジタル・情報・プログラミング）を強化。
- ・ 2015年に導入された「自由学期」（中学校の特定の1学期間で、職業体験など多様な体験活動、討論や実習中心の授業を実施）の編成領域を4領域から2領域（テーマ選択・進路探索）に絞る。
- ・ 教科領域ごとに、「核心アイデア」（その教科の学習を通して一般化できる内容）を設定。
- ・ 高等学校に単位制を導入（生徒の学習選択権を拡大し、個別化された学習を可能にする）。2025年から全面導入。

# 諸外国の教育課程 (3) 学校カリキュラム支援

欧米では、SBCD（学校に基礎を置くカリキュラム開発）が1970年代以降進展。アジアでは、学校裁量の幅が狭い国・地域が多く、定着には課題がみられた。近年では、「教科等横断的なテーマ学習」を中心に学校主体の開発が推進されている。

## 特徴的な取組

**イギリス**：補助教員を含め、教員以外の多様なサポートスタッフや専門職が在籍。校長が人員配置を行う。学校裁量が大きく、教員がカリキュラム開発の主体という意識が強い反面、教材準備への負担増から「働き方改革」が課題となっている。

**オーストラリア**：学校による教育課程編成のポイントやテンプレートの例示（例示をもとに教員が年間計画を立案可能）、カリキュラム開発の支援ツールと授業作りや評価のためのヒント・教材を集めたウェブサイトがある。多様な配慮・支援が必要な児童生徒に対応した別カリキュラムも提示。

**台湾**：新たに導入された各学校独自の教育課程（学校開発課程）編成の指針として、先進校の実践事例集を提供。ウェブサイトで情報提供。学校間の温度差が課題となっている。

**韓国**：教科群・学年群を導入し、教育課程編成の学校裁量を大きくしている（ある教科を特定の学期又は学年で集中的に履修することが可能）。多様な選択科目を設置できるよう、各教科（群）別に、20%の範囲で時数増減可能にしている（体育・芸術を除く）。さらに各学校の柔軟な教育課程編成を拡大するため、小学校3年以降・中学校に「学校自律時間」を設置（2022年改訂、2025年から実施）。

# 諸外国の教育課程改革の動向（4）教科等横断・現代的な諸課題

もともと学校の自由度が高い西欧では、複数のテーマを明示する傾向、アジアでは、複数の課題から学校選択とすることで学校の柔軟性を高める機会となっている。

## 各国・地域で指定されている横断的・現代的な諸課題の例

- 「環境教育・持続可能性」、「市民性」、「健康教育・ライフスタイル」、「多文化共生」、「キャリア教育・起業家教育」等は、調査を実施した多くの国・地域で挙げられている。
- 学習の場として、特定の時間を設置する例が多いが、各教科の内容にも「横断的な視点」を示す国（フランス）もある。

## 特徴ある取組事例

**ドイツ**：各教科と関連付けて学習するテーマが全州共通に示されている（キャリア教育、持続可能な開発、民主教育、健康教育、多文化教育）。教育課程上の位置づけ（学習の場）は州によって異なる。

**フランス**：学習指導要領の各教科の「内容」に、「横断的指導」に関する項目が設けられている。中学校では「学校裁量の時間」をこの学習に充てることができる。

**フィンランド**：2015年改訂では、「共通テーマ」が具体的に示されていたが、2019年版では「テーマ別学習」に名称を変更し、内容は「地方教育課程基準に定められている」と示された。

**シンガポール**：プロジェクトワーク（小中高で実施）が大学入学試験の必須科目に位置づけられている。教科学習と現実世界での課題をつなぐ学習活動として「応用学習プログラム（ALP）」を導入。

**韓国**：中学1年の1学期を「自由学期」と定め、プロジェクト学習や体験活動中心のカリキュラムを実施。

**台湾**：各学校独自の「学校開発課程」を創設。その中心的学習領域「課題研究」では、現代的課題を含む19の「議題」から学校が選択して学習。

# 諸外国の教育課程（5）学習内容の示し方

## 特徴ある取組事例

**オーストラリア**：カリキュラムの八つの学習領域全てで、必要不可欠な内容や「核となる概念」に焦点を当てた内容の再構成を実施。教員が教え児童生徒が学習を期待される内容を示した「学習内容の記載（content descriptions）」の分量が21%削減された。これまでも汎用的能力については、「学習の連続性（learning continuum）」を示す一覧が作成されており、就学前（F）から10年生までに児童生徒が身につけることが期待される知識、技能、行動が一連のながれとして示されており、2020年改訂では、最新の研究動向に照らして、「学習の連続性」の内容が刷新された。

**ハンブルグ市（ドイツ）**：2022年に学習指導要領全面改訂。各教科の「内容」では、詳細に内容を記述するのではなく、「中核カリキュラム(Kerncurricula)」を導入し、コンピテンシー指向の授業を推奨。

**シンガポール**：一部教科（理科、人格・市民性教育）において、「ビッグアイデア」に基づき内容整理が行われている。理科では、各分野共通の「中核概念」（多様性・循環・システム・相互作用・エネルギー）の下で学習内容を相互に関連付けた構成となっている。

**韓国**：2015年改訂で導入された「核心概念（핵심개념）」は、当初、「ビッグアイデア」に相当するものとして構想されたが、導入過程の検討で、各教科の「基礎概念」と理解され、教科間でも解釈に相違がみられた。この「核心概念」が授業改善に十分結びついてこなかったことを踏まえ、2022年改訂では、「核心アイデア（핵심아이디어）」を新たに設定して内容体系の枠組みを全面的に見直した。また、「内容要素」を「知識・理解」「過程・技能」「価値・態度」の3カテゴリーで再構築し、教科固有の思考や探究過程を明示した。核心アイデアを中心に内容要素を関連づけることで、「深みがある学習」の実現を目指している。

## 【参考資料】韓国2022年改訂教育課程 社会科「持続可能な世界」領域の構成

<b>核心アイデア</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間が居住するのに有利な条件は空間的に不均等に分布し、これにより地域間の紛争が発生する。</li> <li>・調和をなし、生きていこうとする人間の信念及び活動は地球環境の持続可能性を可能にする。</li> <li>・人類は共同の繁栄と共存のために地域的レベルから地球的レベルまで多様な空間的スケールで相互協力及び連携が必要である。</li> </ul>		
<b>カテゴリー</b>		<b>内容要素</b>		
		初等学校		中学校
		3・4年生	5・6年生	1～3年生
<b>知識・理解</b>	<b>葛藤と不均等の世界</b>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球村の葛藤事例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の統合と分離</li> <li>・地域不均衡</li> <li>・分断と接境地域</li> </ul>
	<b>持続可能な環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私達が住むところの環境</li> <li>・住みやすい環境と生活の質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球村を脅かす問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域開発と環境問題</li> <li>・地域問題の解決</li> <li>・持続可能な都市</li> <li>・グローバル環境 이슈及び持続可能な発展</li> </ul>
	<b>共存の世界</b>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・均衡的な国土発展</li> <li>・分断と平和の場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓半島の平和と統一国土の未来像</li> </ul>
<b>過程・技能</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の観点で住みやすい環境の条件を列挙する</li> <li>・均衡的な国土の発展のための方法を探索する</li> <li>・地球村を脅かす問題解決のための努力を調査する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な利害関係及び価値をめぐる問題に対する自分及び相手の意見を批判的に検討し、合理的にコミュニケーションをとる</li> <li>・地理的問題解決方法と実践方法を模索する</li> </ul>	
<b>価値・態度</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・私達が住むところの環境に対する感受性</li> <li>・生活の質と関連がある環境に対する関心</li> <li>・国土の美しさと生態的環境に対する認識</li> <li>・人類共通問題に対する関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定地域に対する自身の認識と観点に対する反省的省察</li> <li>・多様な価値、観点と意見について理解し尊重する開かれた心</li> <li>・韓半島の平和と統一に関する関心と平和の感受性</li> <li>・地理的問題解決のための地理的想像力</li> <li>・環境問題の深刻さの認識及び持続可能な未来のための生態感受性</li> <li>・地域、国家、世界レベルから地域問題の解決及び持続可能な発展のために参画し実践する態度</li> </ul>	

# カナダにおける教育課程

- ブリティッシュ・コロンビア州とオンタリオ州を例として -

三重大学 高等教育デザイン・推進機構

下村 智子



# 1. 基本情報



- ◆ 人口：約4000万人（2023年1月）
- ◆ 人口の約22%が国外で出生（2016）
- ◆ 公用語：英語・フランス語
- ◆ 国内の言語の数：450以上
  
- ◆ 児童生徒数：約573万人（2019-2020）
- ◆ 教員数：約40万人（2019-2020）
- ◆ 中等学校修了率：84%（2020-2021）

- 1867年憲法に基づき、10の州と3つの準州に教育に関する権限が委ねられている）。
- 文部科学省のような国全体の教育政策を管轄する省庁はなく、各州に教育省が置かれている。
- カナダ教育担当大臣協議会（Council of Ministers of Education, Canada）において各州に共通する教育課題等の議論や情報共有が行われる。



# 1. 基本情報

## 州・準州の教育省 (22)

- 政策枠組の策定、教育財政に関する責任を有する

## 学区教育委員会 (376)

- 教育目標の策定、教育予算やプログラムを決定する権限、教職員の雇用に関する権限
  - ✓ 地域により言語や宗教に応じて独立した教育委員会を設置：  
少数派の住民の宗教的・言語的権利を守るという1867年憲法法の規定に基づいて宗教的少数派の学校教育が、1982年憲法法に基づいて言語的少数派の学校教育が、それぞれ権利として保障されている
- 教育長：教育委員会の運営に際しての助言、教育委員会が決定した方針を実施
- 教育委員は選挙によって選出される

## 学校



# 1. 基本情報

	ブリティッシュ・コロンビア州	オンタリオ州
就学義務年齢	5歳～16歳	6歳～18歳
学校段階	小学校：1～8年、1-6、 中学校：7-8年 中等学校：9～12年	小学校：JK/K～8年生 中等学校：9～12年生 (但し、地域により多様)
教育委員会数	英語系・フランス語系合わせて60	英語系無宗派(31)、英語系カトリック(29)、フランス語系無宗派(4)、フランス語系カトリック(8)
学校数	公立学校：1,586校 分離学校：364校	初等教育：3,960校 中等教育：872校
児童生徒数	約56万人	約203万人
一クラスあたりの児童生徒数	幼稚園：18.3人 1～3年生：20.2人 4～7年生：24.3人 8～12年生：23人	1～3年生：20人以下 4～8年生：25人以下 9～12年生：約22人
年間授業時間数	幼稚園：848時間 1年生～7年生：873時間 8年生～12学年：947時間 (2021)	1～8年生：970時間 (最低194日×1日300分)



## 2. 教育改革の動向

2010年

ブリティッシュコロンビア州教育省は、10年サイクルに沿ったカリキュラムの見直しを開始（到達度よりも学習の充実を重視）

2013年

第9学年までの草案公開

意見聴取

2012年9月

第10～12学年の卒業要件の見直し開始

2014年11月

幼稚園から9学年までのカリキュラムを公開

2016年9月より導入

2018年9月～2019年9月

第10学年～12学年までの新科目導入

2020年1月～6月

第10学年試験（読解・作文、数学）を導入（卒業要件）

2022年1月～6月

第12学年試験（読解・作文）を導入（卒業要件）

2022年3月

先住民族に関する授業の履修（4単位）を卒業要件化

2023年9月

通知表における評価方法の改革（形成的評価に基づいた記述中心）



### 3. 教育課程の構成と特徴



## コア・コンピテンシーを基盤とするカリキュラム (BC州)

コア・コンピテンシー	サブ・コンピテンシー	サブ・コンピテンシーの構成要素
コミュニケーション力	伝達する力	他者と関わり合う力 意図と目的に焦点を当てる力 情報を収集し発表する力
	協働する力	グループのメンバーとして協働する力 グループの相互作用を支援する力 共通の目的を決定する力
思考力	創造的思考力	想像し革新する力 新たなアイデアを生み出す力 評価し発展させる力
	批判的・省察的思考力	分析し批評する力 問いを立て探究する力 計画し改善する力 省察し評価する力
個人的・社会的 コンピテンシー	自己認識と責任	自己を尊重し主張する力 (self-advocating) 自己調整力 (self-regulating) ウェルビーイング
	肯定的な自己認識・ 文化的アイデンティティ	他者との関係や文化的背景を理解する力 自分の持つ価値と選択を自覚する力 自分の長所と能力を見定める力
	社会的認識と責任	他者との関係を構築する力 コミュニティに貢献し、環境を大切にする力 問題解決力 多様性を重んじる力

(出典：鈴木敏之『令和3年度プロジェクト研究調査研究報告書 学校における教育課程編成の実証的研究報告書5 諸外国の教育課程改革の動向』国立教育政策研究所、2022年、49頁より一部改編。)



### 3. 教育課程の構成と特徴

## コンピテンシーを基盤としたカリキュラム (オンタリオ州)

### 転移可能なコンピテンシー (Transferable Competency)

批判的思考と問題解決、  
イノベーション・創造性・起業家精神、  
自主学習、チームワーク (Collaboration)  
コミュニケーション、  
グローバル・シティズンシップと  
持続可能性、デジタルリテラシー

「児童は、カリキュラムのすべての科目の学習を通して転移可能なコンピテンシーを身につけます。これらのコンピテンシーは、学習における生徒の認知的、社会的、情緒的、身体的な取り組みを通じて高められます。教員は、安心ができ、インクルーシブかつ公平な学習環境において、さまざまな教育および学習方法、モデル、アプローチ、評価実践を通じて転移可能なコンピテンシーを身につけます。」

(British Columbia Ministry of Education (2019).  
"Social Studies 4" より発表者訳出)

### 学習スキルと学習習慣 (Learning Skills and Work Habits)

責任感、自己管理能力 (organization)、課題解決能力 (independent work)、  
チームワーク (collaboration)、学習への積極性 (initiative)、自律性 (self-regulation)

### 社会的・情動的学習スキル (Social-Emotional Learning Skill)

感情を見極め管理する、ストレスの原因を認識し、課題に対処する、モチベーションと忍耐力を維持する、人間関係を構築し、効果的にコミュニケーションを図る、自己認識と自信を高める、批判的かつ創造的に考える



# 【参考】コンピテンシー概念の構築

## 汎カナダ・グローバル・コンピテンシー (CMEC, 2020)

- 批判的思考と問題解決
- イノベーション、創造性、起業家精神
- 学習のための学び、self aware and self directed
- コラボレーション
- コミュニケーション
- グローバル・シティズンシップと持続可能性



## 各州・準州で示されるコンピテンシー

<p><b>Alberta</b></p> <p>Alberta's 21st Century Education Framework</p> <p>Alberta's 21st Century Education Framework</p>	<p><b>British Columbia</b></p> <p>BC's 21st Century Education Framework</p> <p>BC's 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Manitoba</b></p> <p>Manitoba's 21st Century Education Framework</p> <p>Manitoba's 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Ontario</b></p> <p>Ontario's 21st Century Education Framework</p> <p>Ontario's 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Quebec</b></p> <p>Quebec's 21st Century Education Framework</p> <p>Quebec's 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Saskatchewan</b></p> <p>Saskatchewan's 21st Century Education Framework</p> <p>Saskatchewan's 21st Century Education Framework</p>
<p><b>Atlantic Provinces</b></p> <p>Atlantic Provinces' 21st Century Education Framework</p> <p>Atlantic Provinces' 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Northwest Territories</b></p> <p>Northwest Territories' 21st Century Education Framework</p> <p>Northwest Territories' 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Yukon</b></p> <p>Yukon's 21st Century Education Framework</p> <p>Yukon's 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Nunavut</b></p> <p>Nunavut's 21st Century Education Framework</p> <p>Nunavut's 21st Century Education Framework</p>	<p><b>Global Competence Framework</b></p> <p>Global Competence Framework</p> <p>Global Competence Framework</p>	<p><b>Worldview Framework</b></p> <p>Worldview Framework</p> <p>Worldview Framework</p>

# 3. 教育課程の構成と特徴

## ビッグアイデア (Big Ideas) の提示

ブリティッシュ・コロンビア州のカリキュラム

Social Studies K-10 – Big Ideas			
Grade			
K	<ul style="list-style-type: none"> <li>Our communities are diverse and made up of individuals who have a lot in common.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Stories and traditions about ourselves and our families reflect who we are and where we are from.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rights, roles, and responsibilities shape our identity and help us build healthy relationships with others.</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Healthy communities recognize and respect the diversity of individuals and care for the local environment.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>We shape the local environment, and the local environment shapes who we are and how we live.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Our rights, roles, and responsibilities are important for building strong communities.</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Canada is made up of many diverse regions and communities.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Local actions have global consequences, and global actions have local consequences.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Individuals have rights and responsibilities as global citizens.</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Learning about indigenous peoples nurtures multicultural awareness and respect for diversity.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Indigenous knowledge is passed down through oral history, traditions, and collective memory.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Indigenous societies throughout the world value the well-being of the self, the land, spirits, and ancestors.</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Interactions between First Peoples and Europeans led to conflict and co-operation, which continue to shape Canada's identity.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>The pursuit of valuable natural resources has played a key role in changing the land, people, and communities of Canada.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Demographic changes in North America created shifts in economic and political power.</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Immigration and multi-culturalism continue to shape Canadian society and identity.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Natural resources continue to shape the economy and identity of different regions of Canada.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Canada's policies for and treatment of minority peoples have negative and positive legacies.</li> </ul>

(British Columbia Ministry of Education (2019). "Social Studies 4" より抜粋)

オンタリオ・カリキュラム

(Ontario Ministry of Education (2023). "THE ONTARIO CURRICULUM GRADES 1-8 Social Studies, History, and Geography 2023" より抜粋)

- 学習分野における理解の中心となる内容を記述したもので、学習領域内の知識を整理するために使用される重要な概念、原則、理論
- 専門的知識を理解するための鍵となる概念、原則、理論を含む
- 教科や学習領域を超えて他のトピックに転用できる場合がある
- 名前、日付、式などの特定の事実情報ではない

### Strand A. Heritage and Identity: Our Changing Roles and Responsibilities

Overall Expectations	Related Concepts of Social Studies Thinking	Big Ideas	Framing Questions	Sample Spatial Skills/Activities to Be Introduced/ Developed
A1. describe some of the ways in which people's roles, relationships with others and the world around them relate to who they are and what their situation is, and how and why changes in circumstances might affect people's roles, relationships, and responsibilities as well	Continuity and Change	A person's roles, responsibilities, and relationships change over time and in different situations.	<ul style="list-style-type: none"> <li>How and why do people's roles and responsibilities change as they encounter new situations and develop relationships with different people?</li> <li>How do people's various roles and</li> </ul>	Maps* and Globes <ul style="list-style-type: none"> <li>Using elements of maps (e.g., title, symbols in a legend, direction, scale [non-standard], and colour) to help them extract information or when constructing</li> </ul>





### 3. 教育課程の構成と特徴

## 教科内容の焦点化（ブリティッシュ・コロンビア州）

教科内容には、ビッグアイデアに沿って、児童生徒が「知る」（Know）べき内容が示されている。

#### Social Studies K-10 – Content – continued

Grade	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>early contact, trade, co-operation, and conflict between First Peoples</li> <li>the fur trade in pre-Confederation Canada and British Columbia</li> <li>demographic changes in pre-Confederation British Columbia in both First Peoples and non-First Peoples communities</li> <li>economic and political factors that influenced the colonization of British Columbia and its entry into Confederation</li> <li>the impact of colonization on First Peoples societies in British Columbia and Canada</li> <li>the history of the local community and of local First Peoples communities</li> <li>physiographic features and natural resources of Canada</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>the development and evolution of Canadian identity over time</li> <li>the changing nature of Canadian immigration over time</li> <li>past discriminatory government policies and actions, such as the Chinese Head Tax, the Komagata Maru incident, residential schools, and internments</li> <li>human rights and responses to discrimination in Canadian society</li> <li>levels of government (First Peoples, federal, provincial, and municipal), their main functions, and sources of funding</li> <li>participation and representation in Canada's system of government</li> <li>resources and economic development in different regions of Canada</li> <li>First Peoples land ownership and use</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>the urbanization and migration of people</li> <li>global poverty and inequality issues, including class structure and gender</li> <li>roles of individuals, governmental organizations, and NGOs, including groups representing indigenous peoples</li> <li>different systems of government</li> <li>economic policies and resource management, including effects on indigenous peoples</li> <li>globalization and economic interdependence</li> <li>international co-operation and responses to global issues</li> <li>regional and international conflict</li> <li>media technologies and coverage of current events</li> </ul>

### 3. 教育課程の構成と特徴

## ストランドを軸とした教科内容（オンタリオ州）

#### 全体の目標

学年末までに児童は何ができるようになるかを記述

#### 具体的な目標

#### 教師による発問の例

#### Expectations by strand

#### A. Heritage and Identity: Early Societies to 1500 CE

ストランド

#### Overall expectations

By the end of Grade 4, students will:

#### A1. Application: Past and Present Societies

トピック

compare key aspects of life in a few early societies (to 1500), including at least one First Nation and one Inuit society, each from a different region and era and representing a different culture, and describe some key similarities and differences between these early societies and present-day Canadian society  
**FOCUS ON:** *Continuity and Change; Perspective*

#### Specific expectations

By the end of Grade 4, students will:

**A1.1** compare social organization (e.g., social classes, general political structure, inherited privilege, the status of women) in a few early societies, including at least one First Nation and one Inuit society (e.g., a slave-owning and a feudal society; a matrilineal First Nation and a society in medieval Asia)

#### Teacher supports

#### Sample Questions

- What is the difference between a slave and a serf? In what ways were social classes in a feudal society different from those in a slave-owning society? In what ways were they the same?
- What were some differences in the position of women in ancient Greece, medieval France, and early Haudenosaunee society?
- What were some differences and similarities between the clan systems of early Haida and Cree societies?
- What were some of the similarities and differences in systems of leadership between an early First Nation society and an ancient Inuit society?

### 3. 教育課程の構成と特徴

## 到達基準（何ができるようになるか）の設定

オンタリオ州：「達成チャート（Achievement chart）」

Communication – The conveying of meaning through various forms				
Categories	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4
<b>Expression and organization of ideas and information</b> (e.g., clear expression, logical organization) in oral, visual, and written forms	The student: expresses and organizes ideas and information with limited effectiveness	expresses and organizes ideas and information with some effectiveness	expresses and organizes ideas and information with considerable effectiveness	expresses and organizes ideas and information with a high degree of effectiveness
<b>Communication for different audiences</b> (e.g., peers, adults) and purposes (e.g., to inform, to persuade) in oral, visual, and written forms	communicates for different audiences and purposes with limited effectiveness	communicates for different audiences and purposes with some effectiveness	communicates for different audiences and purposes with considerable effectiveness	communicates for different audiences and purposes with a high degree of effectiveness
<b>Use of conventions</b> (e.g., mapping and graphing conventions, communication conventions), vocabulary, and terminology of the discipline in oral, visual, and written forms	uses conventions, vocabulary, and terminology with limited effectiveness			

カテゴリに基づいた知識技能のパフォーマンス基準を設定

ブリティッシュ・コロンビア州：カリキュラム・コンピテンシー

(British Columbia Ministry of Education (2019))

Application – The use of knowledge and skills to make connections	
Categories	Level 1
<b>Application of knowledge and skills</b> (e.g., concepts, procedures, spatial skills, processes, technologies) in familiar contexts	The student: applies knowledge and skills in familiar contexts with

Grade	Inquiry	Significance	Evidence	Continuity and change	Cause and consequence	Perspective	Ethical judgement
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Use Social Studies inquiry processes and skills to ask questions; gather, interpret, and analyze ideas; and communicate findings and decisions</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Construct arguments defending the significance of individuals/groups, places, events, or developments</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ask questions, corroborate inferences, and draw conclusions about the content and origins of different sources</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Sequence objects, images, or events, and determine continuities and changes between different time periods or places</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Differentiate between intended and unintended consequences of events, decisions, or developments, and speculate about alternative outcomes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Describe peoples, cultures, and worldviews commonly held by people at different times or places</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Make ethical judgments about events, decisions, or actions that consider the conditions of a particular time and place</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Use Social Studies inquiry processes and skills to ask questions; gather, interpret, and analyze ideas; and communicate findings and decisions</li> <li>Develop a plan of action to address a selected problem or issue</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Construct arguments defending the significance of individuals/groups, places, events, or developments</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ask questions, corroborate inferences, and draw conclusions about the content and origins of a variety of sources, including mass media</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Sequence objects, images, or events, and recognize the positive and negative aspects of continuities and changes in the past and present</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Differentiate between short- and long-term causes, and unintended consequences, of events, decisions, or developments</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Take stakeholders' perspectives on issues, developments, or events by making inferences about their beliefs, values, and motivations</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Make ethical judgments about events, decisions, or actions that consider the conditions of a particular time and place, and assess appropriate ways to respond</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>Use Social Studies inquiry processes and skills to ask questions; gather, interpret, and analyze ideas; and communicate findings and decisions</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Construct arguments defending the significance of individuals/groups, places, events, or developments</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ask questions, corroborate inferences, and draw conclusions about the content and origins of a variety of sources, including mass media</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Sequence objects, images, or events, and recognize the positive and negative aspects of continuities and changes in the past and present</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Differentiate between short- and long-term causes, and unintended consequences, of events, decisions, or developments</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Take stakeholders' perspectives on issues, developments, or events by making inferences about their beliefs, values, and motivations</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Make ethical judgments about events, decisions, or actions that consider the conditions of a particular time and place, and assess</li> </ul>

(Ontario Ministry of Education, 2023).



# 3. 教育課程の構成と特徴



Ministry of Education

## Area of Learning: SOCIAL STUDIES — First Peoples and European Contact

Grade 4

### BIG IDEAS

The pursuit of valuable natural resources has played a key role in changing the land, people, and communities of Canada.

Interactions between First Peoples and Europeans led to conflict and co-operation, which continue to shape Canada's identity.

Demographic changes in North America created shifts in economic and political power.

British Columbia followed a unique path in becoming a part of Canada.

### Learning Standards

#### Curricular Competencies

Students are expected to be able to do the following:

- Use Social Studies inquiry processes and skills to ask questions; gather, interpret, and analyze ideas; and communicate findings and decisions
- Construct arguments defending the significance of individuals/groups, places, events, or developments (significance)
- Ask questions, corroborate inferences, and draw conclusions about the content and origins of different sources (evidence)
- Sequence objects, images, or events, and determine continuities and changes between different time periods or places (continuity and change)
- Differentiate between intended and unintended consequences of events, decisions, or developments, and speculate about alternative outcomes (cause and consequence)
- Construct narratives that capture the attitudes, values, and worldviews commonly held by people at different times or places (perspective)
- Make ethical judgments about events, decisions, or actions that consider the conditions of a particular time and place (ethical judgment)

#### Content

Students are expected to know the following:

- early contact, trade, co-operation, and conflict between First Peoples and European peoples
- the fur trade in pre-Confederation Canada and British Columbia
- demographic changes in pre-Confederation British Columbia in both First Peoples and non-First Peoples communities
- economic and political factors that influenced the colonization of British Columbia and its entry into Confederation
- the impact of colonization on First Peoples societies in British Columbia and Canada
- the history of the local community and of local First Peoples communities
- physiographic features and natural resources of Canada

## 4. 学習の評価

	ブリティッシュ・ コロンビア州	オンタリオ州
学習状況の通知（通知表）	<p>少なくとも年5回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況の報告（4回、うち2回は記述式）</li> <li>・学習のまとめ（1回）</li> </ul>	<p>年3回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経過報告書（1回）</li> <li>・成績表（2回）</li> </ul>
評価の示し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒自身の振り返り</li> <li>・9年生までは州の到達枠組を使用した記述式</li> <li>・10～12年生：記述式に加えて文字または割合（%）を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カリキュラム達成度」と「学習スキル達成度」</li> <li>・1～6年生までは文字で、7年生以上は割合（%）で示す。</li> <li>・児童生徒の長所と改善点についてエピソードを交えたコメント</li> </ul>
試験制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4・7年「基礎スキル試験」：読解・作文、数学</li> <li>・10年：読解・作文、数学</li> <li>・12年：読解・作文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3・6年：読解・作文・数学</li> <li>・9年：数学</li> <li>・10年：オンタリオ州中等学校識字テスト（OSSLT）</li> </ul>

汎カナダ学力評価プログラム（The Pan-Canadian Assessment Program: PCAP）  
（3年に一度、読解・作文、数学、科学の試験を実施）



## 4. 学習の評価 ブリティッシュ・コロンビア州

### 基礎スキル試験 (Foundation Skills Assessment : FSA)

- 対象：4年生と7年生
- 通常の授業時間に実施される読解・作文、算数の試験
- 数日から数週間にわたって、紙媒体やオンラインで実施される。
- 試験は、5つのパートに分かれており、プリントまたはオンラインで出題されるもの（45分～60分）と振り返り（5分）で構成される。
- 教員は、通知表で使用される同じ評価指標に基づいて採点を行い、習熟度が示された小冊子が保護者にか返却される。

「FSAの結果は、生徒、教師、学校、学区をランク付けするためのものではないことを知っておくことは重要です。ランキングは学習に役立つものではなく、ブリティッシュ・コロンビア州の教育制度を改善するものでもありません。FSAは1つのデータにすぎず、学校で行われるすべての教育と学習を反映しているわけではありません。そのため、教育省は、ランキングを作成・共有しないのです。」



# 4. 学習の評価： ブリティッシュ・コロンビア州

## 幼稚園～9年生までの評価指標

	<b>EMERGING</b>	<b>DEVELOPING</b>	<b>PROFICIENT</b>	<b>EXTENDING</b>
	The student demonstrates an initial understanding of the concepts and competencies relevant to the expected learning.	The student demonstrates a partial understanding of the concepts and competencies relevant to the expected learning.	The student demonstrates a complete understanding of the concepts and competencies relevant to the expected learning.	The student demonstrates a sophisticated understanding of the concepts and competencies relevant to the expected learning.

習熟度を4段階で評価

## 10～12年生までの評価指標

Letter Grade	Percentage Range	Definition
<b>A</b>	86 - 100	The student demonstrates excellent or outstanding learning in relation to the Learning Standards of the curriculum.
<b>B</b>	73 - 85	The student demonstrates very good learning in relation to the learning standards of the curriculum.
<b>C+</b>	67 - 72	The student demonstrates good learning in relation to the learning standards of the curriculum.
<b>C</b>	60 - 66	The student demonstrates satisfactory learning in relation to the expected Learning Standards of the curriculum.
<b>C-</b>	50 - 59	The student demonstrates minimally acceptable learning in relation to the Learning Standards of the curriculum.
<b>F</b>	0 - 49	The student has not demonstrated minimally acceptable learning in relation to the Learning Standards of the curriculum.
<b>SG</b>	N/A	Standing Granted: Although completion of normal requirements is not possible, sufficient evidence of learning has been demonstrated to warrant, consistent with the best interests of the student, the granting of standing for the area of learning and grade. Standing Granted may be used in cases of serious illness, hospitalization, late entry or early leaving, but may only be granted by an adjudication process authorized by the principal, vice principal or director of instruction in charge of the school.  Transfer Standing: May be granted by the principal, vice-principal, or director of instruction in charge of a school on the basis of an examination of records from a proficiency scale indicator or letter grade and percentage on the basis of an examination of those records.
<b>IE</b>	N/A	The student, for a variety of reasons, has not provided sufficient evidence of learning in relation to the Learning Standards of the Provincial Curriculum.

文字と割合で評価

# 4. 学習の評価： ブリティッシュ・コロンビア州

経過報告書の例

通知表の例

教師の観察や形成的評価に基づいたフィードバック

Eポートフォリオ評価

習熟度による3段階評価

児童によるコア・コンピテンシーの振り返りと目標設定

**Learning Update** British Columbia Elementary

Student Name: Ryan D. Date: March 2023

Grade: 4. Achievement: on track to 87.5%

**Teacher descriptive feedback**

Ryan is a great communicator and enjoys interacting with others to share his ideas. He is sensitive to others and is aware of how his actions and words impact those around him. Ryan at times requires support when working through difficult or uncomfortable situations with peers or staff. He is working on using his strong communication skills to grow in better expressing his thoughts in times of social conflict. Overall, Ryan has developed important friendships and is a valued member of our classroom community.

Area of Learning	Proficiency Scale Indicator	Descriptive Feedback
English Language Arts	Developing	Ryan makes meaningful connections, which demonstrates his good comprehension of what he is reading. Although reading below grade level, when presented with books at his level, his ability to engage and think about what he is reading has helped him grow his reading skills. The next steps for Ryan would be to continue to spend time reading a variety of texts that interest him and practice sounding out new and unfamiliar words.
Mathematics	Proficient	Ryan is proficient at explaining and justifying his mathematical reasoning. He is eager to try one concept and then explain it when solving problems. Ryan is still building his understanding of the relationship between perimeter and area and can use his strong problem-solving skills to continue to build this skill.
Science	Proficient	Ryan is a curious student who makes keen observations and predictions through scientific inquiry. During our investigation of body systems, he demonstrated proficiency when planning his inquiry on how to take care of your respiratory system.
Social Studies	Proficient	Ryan has asked great questions throughout our various inquiries this year. When looking at a variety of issues and perspectives he also provided well-constructed arguments to defend his thinking. At times Ryan struggled to understand or consider other perspectives beyond his own, but he always took the time to ask questions along the way, which is an important skill.
Physical & Health Education	Developing	Ryan has demonstrated fair play and leadership in all of our physical activities. He actively participated in all activities and could recognize how personal choices surrounding physical activity and food choices impact your health and well-being. Ryan continues to develop in some of the fundamental movement skills, especially what is required to control an object such as a ball. With more practice and participation in sports opportunities, Ryan will become more confident and further develop his skills.
Arts Education	Developing	Ryan was able to identify various elements of art used among indigenous communities. During our inquiry into the various regions of Canada, Ryan required support to create pieces of art, visual, dance, music representing the various regions of Canada. Ryan required support to create pieces of art, visual, dance, music representing the various regions of Canada. Ryan required support to create pieces of art, visual, dance, music representing the various regions of Canada. Ryan required support to create pieces of art, visual, dance, music representing the various regions of Canada.

**Self-assessment of Core Competencies and goal setting**

My goal was to think in new ways this year. This year I had to think creatively and critically also. In Science I got to do an inquiry project on anything I wanted and because I really love pretty rocks I decided to study rocks and learned about so many different kind of rocks in BC. I had to relay think about how to group them into categories and how to explain the different characteristics in my presentation. That was the hardest thing I did all year and I'm really proud that I did a great job.

I had a goal to get better at communicating my thoughts better. I think I did alot of growth this year in my communication cause I learned how to write a really good paragraph and all about punctuation. I didn't know any of that last year. And my teacher gave us lots of projects that got us to write and we made posters and presentations. We wrote our own stories and plays and we also wrote reflections like this one to help us understand how we are growing. I really like that we got to do so many presentations in class too because it's fun to watch other peoples and because it helps you with speaking in front of a class. I feel more confident in my communication than in grade 3. I am also working on using these skills. I am learning with my friends. Sometimes I find it hard when we have a fight but I am learning how to communicate with them too.

**Summary of Learning** British Columbia Elementary

Student Name: Jared D. Date: June 2023

Grade: 7. Achievement: 80.00% to 87.5%

**Teacher descriptive feedback**

Jared has been a kind, friendly, and funny member of our class community. He enjoys participating in class activities and discussions and his contributions are consistently interesting and relevant.

He enjoys problem solving and is a curious learner.

He continues to develop his concentration by avoiding distractions in class. He is aware of the things that take him off task and is doing a great job of setting up his learning environment to minimize them. Time management has been an area of growth for Jared. He is doing a good job breaking large projects into small, manageable steps so he can complete his best work rather than rushing to finish at the last minute.

**E-portfolio**

In the e-portfolio, you will find specific descriptive feedback about what your child is able to do and where they will be going next with their learning.

Area of Learning	Proficiency Scale
English Language Arts	Developing
Mathematics	Proficient
Science	Proficient
Social Studies	Developing
Physical & Health Education	Proficient
Arts Education	Proficient
Career Education	Proficient
ADST	Proficient

**Self-reflection on Core Competencies and goal setting**

This year, students have engaged in goal-setting and self-reflection on their learning in relation to the Core Competencies of Communication, Thinking, and Personal and Social. Please see the portfolio post titled "Year-end Late French Immersion Core Competency summary."

Principal's signature: \_\_\_\_\_ Parent's signature: \_\_\_\_\_

Teacher signature: \_\_\_\_\_



# 4. 学習の評価： ブリティッシュ・コロンビア州

児童によるコア・コンピテンシー（思考力、個人的・社会的コンピテンシー）の振り返りの例



教師による発問「あなたであるとはどういう意味ですか？」に対する児童の応答：

「私はイギリス系日本人系カナダ人で、フランス語を話します。私は家族の一員で、他の場所や人々について学ぶために家族と一緒に旅行をします。最初はうまくいかなかったとしても、いつでも再挑戦でき、その後は良くなるので、私は自分をアスリートだと思っています。私は忍耐力があるので自分を誇りに思っています。敗北感を感じても、私は忍耐強く耐えます。このことは、みんなに知っておいて欲しいと思います。なぜなら、リスクを冒すことが好きなのは、その後、勇敢になれるからです。私は、頭の中が騒がしくなりすぎると気が散ってしまうので、一人で勉強するのが好きです。」



# 4. 学習の評価：オンタリオ州

## 経過報告書のフォーマット

Ontario Ministry of Education Elementary Progress Report Card (Board Copy)

Date: \_\_\_\_\_

Student	Grade	Teacher	School
Days Absent	Days Absent Times Late	Total Days Absent	Total Times Late
Address		Principal	
Telephone			

(Space for Board Information)

**「学習スキルと学習習慣」に関する評価（4段階）**

Learning Skills and Work Habits	Strengths/Next Steps for Improvement
<p><b>Responsibility</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fulfills responsibilities and commitments within the learning environment</li> <li>Completes assignments (class work, homework, and assignments) according to agreed-upon deadlines</li> <li>Takes responsibility for and manages own behaviour</li> </ul> <p><b>Organization</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Organizes and follows a plan and procedure for completing work activities</li> <li>Determines, prioritizes and manages time to complete tasks and achieve goals</li> <li>Identifies, gathers, evaluates and uses information technology, and accesses to complete tasks</li> </ul> <p><b>Independent Work</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Independently researches, analyzes, and selects plans to complete tasks and meet goals</li> <li>Uses skills and appropriately to complete tasks</li> <li>Follows instructions with minimal supervision</li> </ul> <p><b>Collaboration</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Accepts various roles and an equitable share of each in a group</li> <li>Responds constructively to the ideas, opinions, values, and traditions of others</li> <li>Builds healthy peer to peer relationships in groups and through virtual and media-assisted interactions</li> <li>Works with others to generate positive and build consensus to achieve group goals</li> <li>Shares information, resources and expertise and provides critical thinking skills, problems and their solutions</li> </ul> <p><b>Initiative</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Looks for and selects new ideas and opportunities for learning</li> <li>Demonstrates the capacity for innovation and is willing to take risks</li> <li>Demonstrates curiosity and interest in learning</li> <li>Approaches new tasks with a positive attitude</li> <li>Recognizes and advocates opportunities for the rights of self and others</li> </ul> <p><b>Self-Regulation</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Sets their individual goals and monitors progress towards achieving them</li> <li>Seeks clarification or assistance when needed</li> <li>Assesses and reflects critically on their strengths, needs, and interests</li> <li>Identifies learning opportunities, resources, and strategies to meet personal needs and achieve goals</li> <li>Recognizes and makes an effort when responding to challenges</li> </ul>	<p>教師によるコメント (良いところや改善点など)</p>

© Queen's Printer for Ontario, 2010 Grades 1-6 Page 1 of 2

Student: \_\_\_\_\_ CEN: \_\_\_\_\_ Grade: \_\_\_\_\_

ESL/ELD - Achievement is based on expectations modified from the curriculum expectations. IEP - Individual Education Plan for the grade to support English language learning needs. EE - Non-division for students with special needs.

Subjects	Progression into Literacy	Progression into Math	Progression into PE/Art	Strengths/Next Steps for Improvement
English (Writing and Communication Units Literacy)	<input type="checkbox"/> ESL/ELD <input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			各教科の評価（3段階）と 教員からのコメント
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			
ESL/ELD	<input type="checkbox"/> IEP <input type="checkbox"/> NA			

To Parents/Guardians and Students: This copy of the progress report card should be retained for reference. The original or an exact copy has been placed in the student's Ontario Student Record (OSR) folder and will be retained for five years after the student leaves school.

Teacher's Signature: \_\_\_\_\_ Principal's Signature: \_\_\_\_\_

(Space Designated for Board)

© Queen's Printer for Ontario, 2010 Grades 1-6 Page 2 of 2

(Ontario Ministry of Education (2010). "Growing Success: Assessment, Evaluation and Reporting in Ontario Schools".より抜粋)

# 4. 学習の評価：オンタリオ州

## 通知表のフォーマット

**Ontario Ministry of Education Elementary Provincial Report Card**

Student: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Class: \_\_\_\_\_ Teacher: \_\_\_\_\_

Grade: \_\_\_\_\_ School: \_\_\_\_\_

Address: \_\_\_\_\_ Telephone: \_\_\_\_\_

**CRIDE IN SEPTEMBER**

**Learning Skills and Work Habits**

Learning Skills and Work Habits	1 - Fulfilled	2 - Good	3 - Satisfactory	4 - Needs Improvement
<b>Responsibility</b>				
<b>Organization</b>				
<b>Independent Work</b>				
<b>Collaboration</b>				
<b>Initiative</b>				
<b>Self-Regulation</b>				

**Strengths/Next Steps for Improvement**

「学習スキルと学習習慣」に関する評価（4段階）と教員からのコメント

**Ontario Ministry of Education Elementary Provincial Report Card**

Student: \_\_\_\_\_ Date: \_\_\_\_\_

Class: \_\_\_\_\_ Teacher: \_\_\_\_\_

Grade: \_\_\_\_\_ School: \_\_\_\_\_

Address: \_\_\_\_\_ Telephone: \_\_\_\_\_

**Subject**

Subject	1	2
<b>Mathematics</b>		
<b>Science</b>		
<b>English</b>		
<b>French</b>		
<b>Art</b>		
<b>Music</b>		
<b>Physical Education</b>		
<b>Health Education</b>		
<b>Health Living, Living Skills</b>		
<b>Physical Education</b>		
<b>Online Living, Movement Competency, Living Skills</b>		
<b>Language</b>		
<b>French</b>		
<b>Spanish</b>		
<b>Latin</b>		
<b>Classical Languages</b>		
<b>Other Languages</b>		
<b>Technology</b>		

**Strengths/Next Steps for Improvement**

各教科の評価と教員からのコメント

Student's Comments

My best work is \_\_\_\_\_

My goal for improvement is \_\_\_\_\_

Teacher's Signature: \_\_\_\_\_

(Ontario Ministry of Education (2010). "Growing Success: Assessment, Evaluation and Reporting in Ontario Schools". より抜粋)



## 5. 教員の専門性や指導力の向上

### ① 教員養成

- 教員養成課程：認可に基づいて高等教育機関に設置
- 約2年間の養成課程
- 教育実習：年間80日以上

### ② 教員研修

- 新任者研修（着任後2年間）
- 研修日（PA/PD Day: Professional Activity/Development Day）

### ③ オンラインでの情報提供（事例、リソース等）

### ④ 教員のネットワークと教員間のコミュニケーション



- Ontario Curriculum: Introducing the new Curriculum and Resources site <https://www.dcp.edu.gov.on.ca/en/>
- BC's Curriculum Overview <https://curriculum.gov.bc.ca/curriculum/overview>
- Ontario Ministry of Education (2010). "Growing Success: Assessment, Evaluation and Reporting in Ontario Schools". <https://www.edu.gov.on.ca/eng/policyfunding/growsuccess.pdf>
- Assessing student skills and curriculum performance <https://www2.gov.bc.ca/gov/content/education-training/k-12/administration/program-management/assessment>
- Reporting on Kindergarten to 12 <https://www2.gov.bc.ca/gov/content/education-training/k-12/administration/program-management/reporting-on-k-12>
- British Columbia Ministry of Education (2023). "K-12 Reporting Policy" <https://www2.gov.bc.ca/assets/gov/education/administration/kindergarten-to-grade-12/k-12-student-reporting-policy-communicating-student-learning-guidelines.pdf>

第8回今後の教育課程、学習指導及び学習評価の在り方に関する有識者検討会（2023年10月20日）

## ニュージーランドにおける学校カリキュラム開発支援

発表者：

東京学芸大学大学院教育学研究科(教職大学院)教育実践専門職高度化専攻

教授 福本 みちよ

# 1. 前提条件の確認

## ○学校数

人口:522万人 (2023年6月末現在)

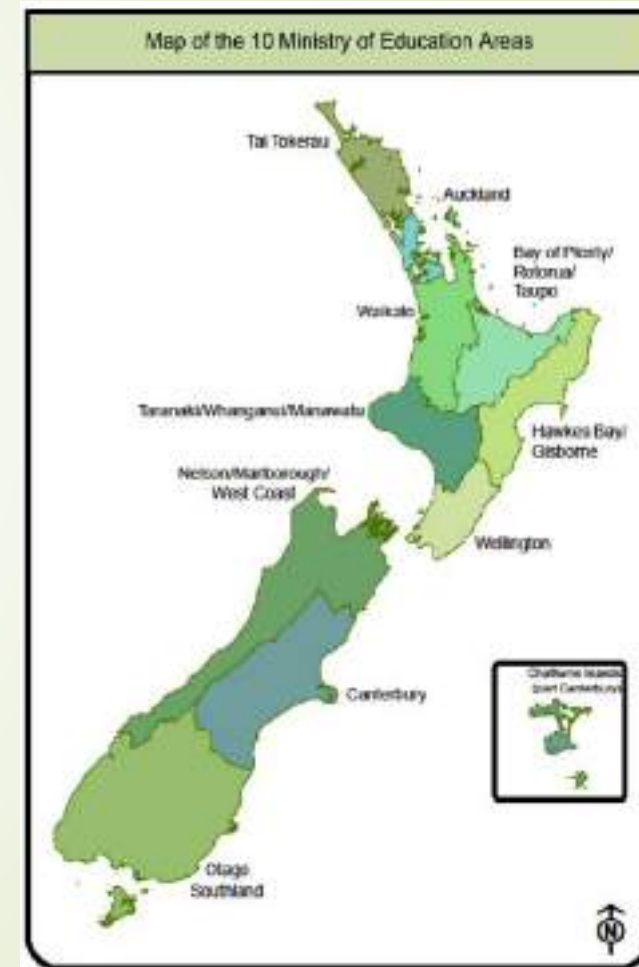
学校数:2,544校 (2022年7月現在、初等・中等教育段階の公立学校及び統合学校)

教員数:56,739人(同上)

## ○教育委員会制度の廃止

「1989年教育法」により教育委員会制度を廃止。

教育省地方事務所(全国10か所)及びその出先機関を、  
教育省－学校間の連絡調整機能を果たすために設置。



# 1. 前提条件の確認

## ○自律的学校経営システムの導入

- ①保護者や地域住民を主たる構成メンバーとする学校理事会を媒体とした共同統治
- ②学校理事会による学校ガバナンスの質と学校理事会が有する  
アカウンタビリティの確保に資する第三者評価
- ③学校理事会による学校ガバナンスの質を高め、効果的な共同統治  
の実現を支える学校支援



# 1. 前提条件の確認

## ○学校支援システム

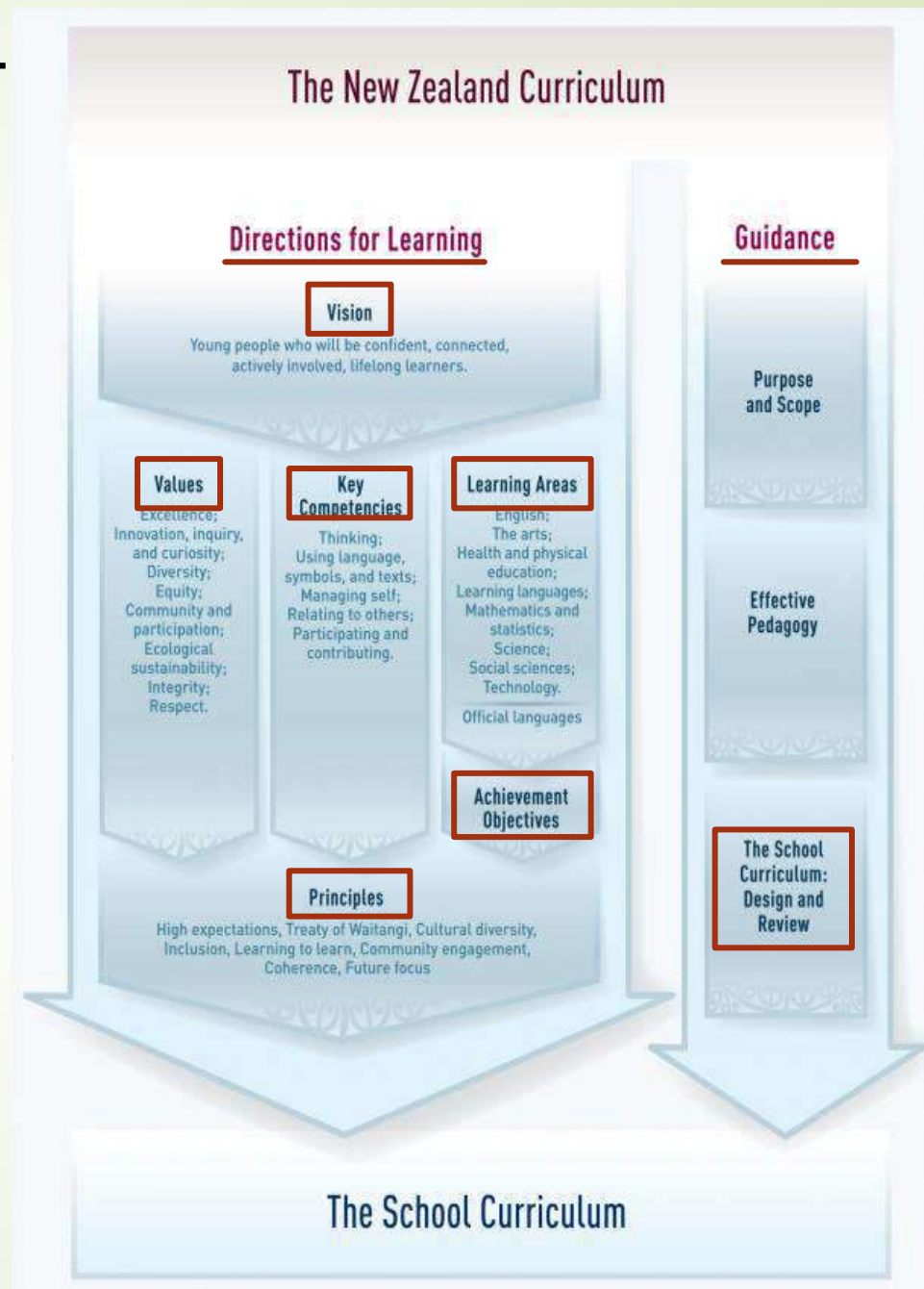
- 自律的学校経営の導入と同時に、学校支援がシステム化
- 教育省は、学校支援政策の立案、システムの運用、財政基盤の整備を担当。  
具体的な支援の提供は、民間を含めた学校支援機関が担当。
- ここで言う学校支援は、以下のように大別される。
  - ①研修プログラムの提供 (Professional Learning & Development: PLD)
  - ②コンサルテーションによる学校開発支援
  - ③危機的状況にある学校に対する法的介入(学校介入)

## 2. ナショナル・カリキュラムの改訂

### ○現行ナショナル・カリキュラム(2007年版)

- 8つの学習領域(①英語、②芸術、③健康・体育教育、④言語学習、⑤数学・統計、⑥科学、⑦社会科学、⑧技術)を設定。
- 教育と学習の方針を定めたもので、詳細な計画ではなく枠組み。
- 授業時数は、全国共通の時数は設定されておらず、各学校の教育方針及び教育計画に則り設定する。

👉 2027年度完全実施予定の新ナショナル・カリキュラムでは、全学習分野が見直され、重要な学習内容の明確化が図られる予定。これにより、各学校が設定するカリキュラムでは、カリキュラム全体を見通した学習デザインが容易になることが期待されている。



## 2. ナショナル・カリキュラムの改訂

- すべての学校カリキュラムは、ナショナル・カリキュラムの意図に沿ったものでなければならぬが、かなりの柔軟性が認められている。学校は、地域のニーズやリソースをふまえた上で、様々なアイデアやリソース、モデルを活用してカリキュラムを編成することができる。

📌 ナショナル・カリキュラムにおいては、**local curriculum** の用語の代わりに **school curriculum** の用語を使用している。

The infographic consists of four rows, each with an icon and a text box. The icons are: 1. A group of four people standing and one person with arms raised. 2. A house icon above three people. 3. A person sitting at a desk looking through a telescope. 4. Two people shaking hands, one holding a briefcase.

We want to work with our school community to get some shared understandings about the teaching and learning we want at our school.

We want a local curriculum that strengthens our people and celebrates our place.

How do we make our vision come alive for every learner, every day?

We know there are some amazing people doing amazing things in our community - how do we better connect our students to these learning opportunities?

NB: The New Zealand Curriculum uses the term "school curriculum" instead of local curriculum.

## 2. ナショナル・カリキュラムの改訂

### ○全国資格制度 The New Zealand Qualification Framework (NZQF)

- NZQFは、教育達成度の認証と、ニュージーランドの経済的、社会的、文化的成功への貢献を示すために設計。
- 2010年に単一の統一枠組みとして導入され、2011年より全面的に導入。
- すべての資格の品質保証のためのシステム。
- 中等教育及び高等教育の上級資格を網羅。

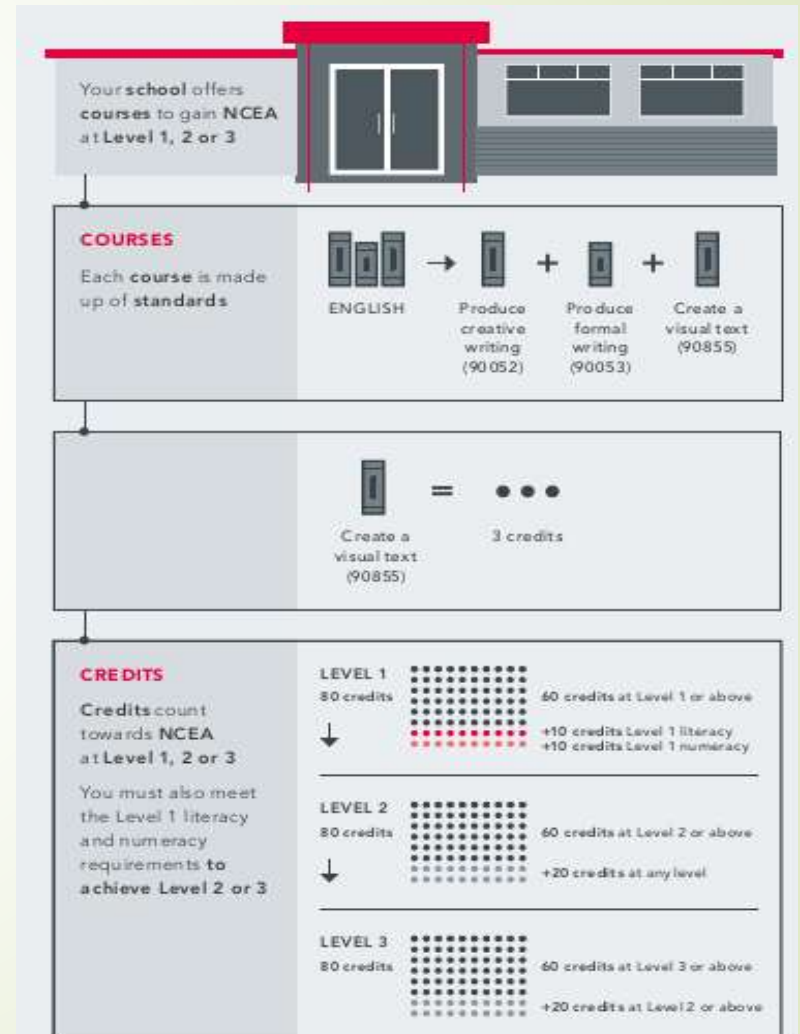
LEVEL	QUALIFICATION TYPES
10	Doctoral Degree
9	Master's Degree
8	Postgraduate Diplomas and Certificates, Bachelor Honours Degree
7	Bachelor's Degree, Graduate Diplomas and Certificates
6	Diplomas
5	
4	Certificates
3	
2	
1	

→ NCEA

## 2. ナショナル・カリキュラムの改訂

### ○全国教育達成資格 The National Certificate of Educational Achievement (NCEA)

- NCEAは、NZQFのレベル1、レベル2、レベル3で取得できる。
- The NZ Curriculum と Te Marautanga o Aotearoa(マオリ語のカリキュラム)の両方からの学習がNCEAと大学入学資格につながっていく。
- NCEAは、見習いとして働きたい人、大学に進学したい人、学校を卒業したら就職したい人など、すべての人のための資格である。
- 授業で学んだ単元を Internal と External という2種類の試験・査定方法で達成度を査定。各単元で合格すると Credits を取得。Creditsの合計でそのLevelに合格し次のレベルに上がることができる。



## 2. ナショナル・カリキュラムの改訂

### ○アセスメント

#### **Welcome to Assessment Online** (教育省関連webサイト”TKI”内)

---

Student progress and achievement across the curriculum

---

Assessment for learning

---

Assessment and reporting guide

---

Assessment tools & resources

---

Using evidence for learning

---

Moderation

---

Overall teacher judgement

---

Reporting to Parents & whanau

---

Research and Readings

---

## 2. ナショナル・カリキュラムの改訂

### ○ナショナル・カリキュラムの改訂

- 1993年 ナショナル・カリキュラム(New Zealand Curriculum Framework)の策定
- 2007年 ナショナル・カリキュラム(New Zealand Curriculum)の改訂
  - 1)官報での公示
  - 2)5つのキー・コンピテンシー
  - 3)「価値」の見直し
  - 4)「学習領域」の見直し(7つ→8つ)
  - 5)“school-based curriculum”を一つのセクションとして位置付け
  - 6)“pedagogy”を一つのセクションとして位置付け

## 2. ナショナル・カリキュラムの改訂

### ○ナショナル・カリキュラムの改訂

#### ●2027年 ナショナル・カリキュラムの改訂(2025年から一部教科で先行実施)

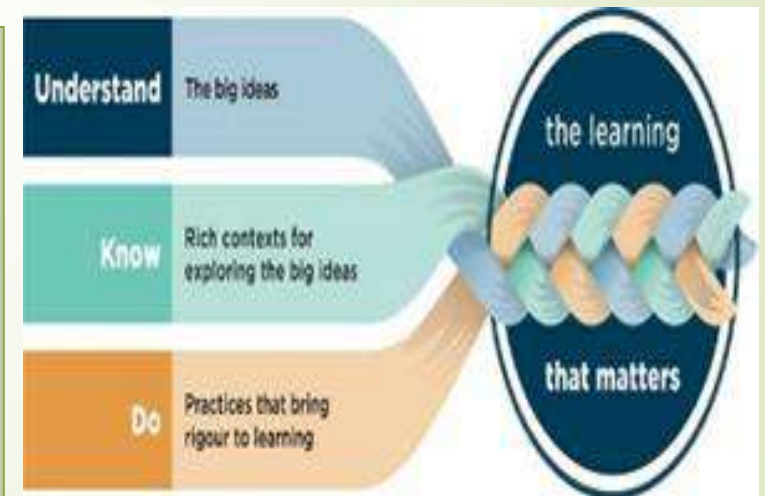
1)公正とインクルージョンの重視 (bicultural approach)

2)outcomes-focused curriculum から progression-focused curriculumへ

○適切な進捗予想を明確にし、またイウィやコミュニティが価値をおくことを内包・共有することを可能にする柔軟性をもつことで、公平な学習機会の提供を支援する。  
 ○一人一人の子どもの学習ステップを前進させることに重点を置く。  
 ○更なる学習機会を形成する Assessment for Learning の実践を支援する。  
 ○教師が自身の実践を振り返り、その影響を調査し、改善することを支援する。それは、教師が学習プロセスにおける特定のポイントや道しるべを探すべきことを重視するからである。

○progression-focused curriculumは、生徒の進捗を伝えるのに有効な言語であり、限られた資源を効率的かつ的を絞って活用し、教育・学習・評価を支援するツールの開発を可能にする。

(Chamberlain, M. (2021). NZ Curriculum Refresh: Progressions Approach)



3)「原理」の見直し



### 3. ナショナル・カリキュラムから「学校カリキュラム」へ

ニュージーランド・カリキュラムは、学校での教育と学習の方向性を定めています。しかし、それは詳細な計画ではなく、フレームワークなのです。つまり、どの学校のカリキュラムもこの文書の意図と明確に一致させなければならないが、学校は細部を判断する際、かなりの柔軟性を持っているということです。そうすることで、さまざまなアイデアやリソース、モデルを活用することができます。

評価の第一の目的は、生徒の学習と教師の教育を向上させることにあります。このことを念頭に置いて、学校は、この目的を効果的に達成するために、評価情報をどのように収集し、分析し、利用するかを検討する必要があります。

Ministry of Education (2007). *The New Zealand Curriculum*, Ministry of Education)



### 3. ナショナル・カリキュラムから「学校カリキュラム」へ

#### 学校理事会の責務(「2020年教育訓練法」第127条)

- 1 学校ガバナンスにおける学校理事会の主要な目的は、以下のことを保証することにある。
  - 1) その学校のすべての生徒が、可能な限り最高水準の教育成果を達成できるようにすること。【以下、略】
- 2 これらの主要な目的を達成するために、学校理事会は以下を行わなければならない。
  - 1) 第5条に基づき発行された「国の教育及び学習優先事項に関する声明」に特に留意すること。
  - 2) 1)を実施するために、以下に示された義務を実行すること。
    - ①すべての教育課程編成方針、ナショナル・カリキュラム・ステートメント、全国パフォーマンス指標
    - ②教授学習プログラム
    - ③学生の進捗状況のモニターと報告 【以下、略】

### 3. ナショナル・カリキュラムから「学校カリキュラム」へ

Curriculum component		What good looks like when bringing <i>Te Mātaiaho</i> alive in school curriculum design and review
<b>Mātainuku   Creating a foundation</b>	Curriculum principles	The curriculum principles are a catalyst for developing a school curriculum that leads to equity and excellence for ākonga. Using the calls to action, school leaders support kaiako to enact the principles through their practice in the classroom.
<b>Mātaaitipu   Vision for young people</b>	Ākonga at the centre	The local knowledge, skills, abilities, and experiences provided through the school curriculum contribute to Mātaaitipu and the aspirations and values of ākonga, whānau, tangata whenua, and the wider community.
<b>Mātairea   Supporting progress</b>	Progression	The critical learning of each phase is clearly evident in the way the school curriculum is designed and enacted. Ākonga experience curriculum that supports their cognitive and social and emotional growth.
	Teaching and assessment	Kaiako adapt their practice so that ākonga pace and progress is cumulative through the pathway. They are actively seeking to learn what they can do differently in the moment and over time to support ākonga to progress. Ākonga are highly engaged in their learning and make progress across the full breadth of the learning areas.
<b>Mātaiaho   Weaving learning within and across learning areas</b>	Understand   Know   Do	The curriculum provides opportunities for deep and meaningful learning across the full range of learning areas. These opportunities disrupt ongoing educational inequities and create rich experiences and pathways for ākonga. Ākonga experience greater breadth, depth, and complexity of learning that they can apply widely through their learning pathway.
<b>Mātaiaho   School curriculum design and review</b>	<u>Strategic planning</u>	The curriculum flows out of a strategic plan that is widely consulted on and powerfully expresses the commitment of the tumuaki, board, leaders, and kaiako to give effect to the curriculum principles. The curriculum is relevant and responsive to ākonga and is clear about the most important learning and why it matters. It is a living, inspiring document developed through an ongoing collaborative process with ākonga, whānau, tangata whenua, and the wider community.
<b>Mātaiahikā   Connecting to place and community</b>	Sustaining local relationships with tangata whenua	Schools authentically partner with tangata whenua locally in the design and review of the school curriculum in ways that are sustainable for tangata whenua. The local knowledge, experiences, world-views, and perspectives of tangata whenua are prioritised and embedded within the content and delivery of the learning areas in ways that tangata whenua recognise and support. Mātauranga Māori, te reo Māori, me ngā tikanga feature throughout the school curriculum.
	Ākonga voice	Ākonga identities, cultures, interests, and strengths are visible in learning. The curriculum builds on them to expand ākonga horizons and deepen their understanding of the world. Language is a key resource for social interaction and creating and expressing cultural knowledge. Ākonga are engaged in their learning and make progress across the full breadth of the learning areas. Ākonga connect with their language resources and use them for learning.
	Relationships with whānau	The school curriculum reflects the identities, cultures, shared values, and aspirations of whānau. It clearly signals in its design and enactment that who and what ākonga bring from outside of school are important. Whānau understand and identify with the goals of the curriculum and are supported and encouraged to hold the school to account for outcomes.
	Community engagement	The people, stories, issues, and resources of the local area are clearly drawn on and embedded in the learning areas. The curriculum is designed so that ākonga engage with and contribute to their place and the community as part of their learning.
	Responsiveness to topical situations and events	The curriculum reflects situations and events (local, national, and global) that affect ākonga and the community, making them relevant and meaningful through the learning areas.

## 4. 学校カリキュラム開発支援

### ○ 学校カリキュラム開発に対する支援

- ①カリキュラム編成の手順やポイントに関するガイドブック類の提供
- ②カリキュラム関連の様々な情報にアクセスできる総合ウェブサイトの開設
- ③学校カリキュラムの好事例に関する情報提供
- ④ワークショップ等の研修機会の提供
- ⑤自己評価ツールの開発・提供
- ⑥各学校へのコンサルティング型支援

## 4. 学校カリキュラム開発支援

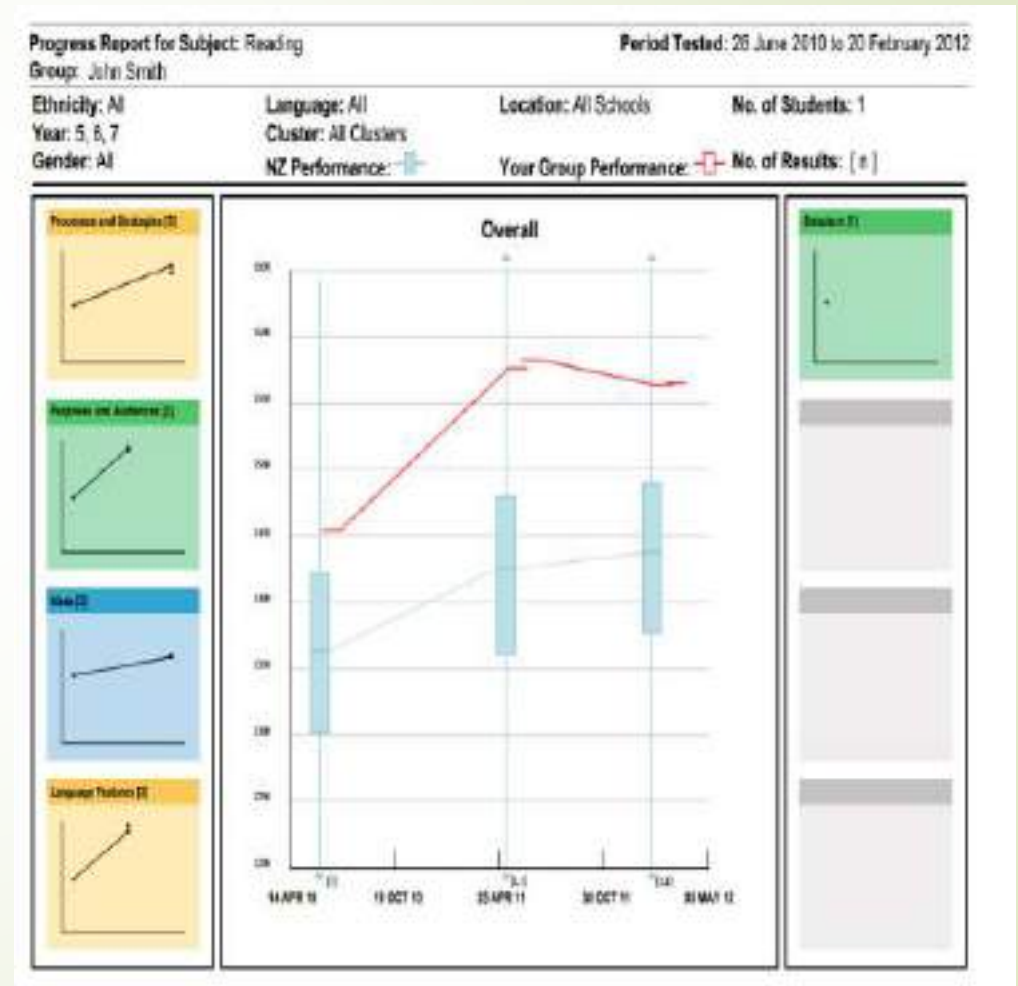
### 【例】 e-asTTle(Electronic Assessment Tools for Teaching and Learning)

●リーディング、ライティング、数学的リテラシーに関する、主として第5学年から第10学年の生徒の進捗度と達成度を評価するために開発されたオンラインの評価ツールであり、初のバイリンガル(英語とマオリ語)の評価ツール。

●ナショナル・カリキュラムのレベル2～6を対象に、プログラミング手法を用いて、教師が指定した要件(約10,000のアイテムバンクから内容や難易度のバランス等の特徴を選択)を満たしながら、「最適な」テストを作成できる。

●e-asTTle を活用して、教師は学校カリキュラムに沿ったテストを好きな時に好きなレベルを設定して作成することができ、作成可能なテストの組み合わせは数千通りにもなる。また、結果は多様な形で表示可能なため、教師は個々の生徒、クラス、学校が、全国平均やカリキュラム要件と比較してどの程度のレベルにあるのか、把握することができる。

●e-asTTleは、学校で学習プログラムを検討する際に有効な情報を提供するのと同時に、教師が保護者と生徒の学習状況について話し合う際に有効なツールとしても機能している。



# 4. 学校カリキュラム開発支援

## ○教育省による支援

All schools	2023, Terms 3-4	2024	2025	2026	2027
<b>Key dates for involvement</b>	Provide feedback on the draft content for the technology, arts, and science learning areas.	Provide feedback in Term 1 on the draft content for science, technology and the arts learning areas. Provide feedback on learning languages and health and physical education.  Schools are strongly encouraged to start to use the refreshed English, mathematics and statistics learning areas with existing programmes.	Te Mātaiaho will include all 8 learning areas by the end of 2025.  Schools are expected to use the refreshed English, mathematics and statistics learning areas from the start of 2025.	Schools are expected to use the Common Practice Model by the start of 2026. As new curriculum supports are introduced, schools enter a cycle of continuous improvement.	
<b>Plan</b>	Begin to refer to Te Mātaiaho as part of annual strategic planning and review. You can use the Readiness Tool to review and identify next steps.  Strengthen cultural capability, inclusive practice, and local connections in your school or cluster. Consider supports such as Te Mahau, Fātaiaho, Tapasā, Te Ahu o te Reo Māori, UnTeach Racism, and the Inclusive Education guides.	Continue to refer to Te Mātaiaho as part of your annual strategic planning and review. You can use the Readiness Tool to review and identify your next steps.  Continue to strengthen cultural capability, inclusive practice, and local connections in your school or cluster.  Explore opportunities to strengthen curriculum design using the refreshed learning areas.	Use Te Mātaiaho as part of your annual strategic planning and review. Use the Readiness Tool to review your progress and identify your next steps.  Plan to use the refreshed learning areas in your curriculum design and planning.  <b>School curriculum focus</b> Begin to identify opportunities to use Te Mātaiaho and the Common Practice Model in your school curriculum.  Discuss the critical focus at each phase that is brought to life by progress outcomes and progress steps. Identify connections in the way your school curriculum is organised within and across the phases of learning to provide a coherent curriculum.  Notice, recognise and respond to the needs and strengths of ākonga and the aspirations of tangata whenua and community.	Ensure Te Mātaiaho is part of your annual strategic planning and review. Use the Readiness Tool to review your progress and identify your next steps. Use the refreshed learning areas in your curriculum design and planning.  <b>Classroom focus</b> Start to design ways to integrate learning within and between phases in your school curriculum. Use the progress outcomes and progress steps to respond to progress with students in Years 0-10.  Begin to embed the Common Practice Model into learning to support literacy, communication and maths.  Design rich learning that is responsive to the aspirations of tangata whenua, ākonga whānau and community.	Te Mātaiaho will become the official English-medium curriculum.  Ensure every ākonga is experiencing an enriched school curriculum, including deliberate focus on literacy, communication and maths.  Continue to develop your school curriculum by evaluating and reviewing it with tangata whenua, ākonga whānau, and the community to deliver learning that matters.  Ākonga are experiencing literacy, communication and maths, delivered using CPM practices.
<b>Take action using available supports</b>	Te Mātaiaho will be ready for use with ākonga. It will include the English, mathematics and statistics, and te ao tangata   social sciences learning areas.  Try using the progression model and Understand, Know and Do (UKD) elements to design topics and tasks for ākonga in years 1-10, building on Aotearoa NZ's histories. Start with your usual English, mathematics and statistics, and social sciences programmes.  Explore and familiarise yourself with the Common Practice Model practices to support the teaching of literacy, communication and mathematics in the refreshed learning areas.	Use the progression model and UKD elements to design topics and tasks with years 0-10. Use any of the refreshed learning areas within your usual programmes.  Plan for and participate in professional learning to support the Common Practice Model (CPM). Identify opportunities to begin CPM implementation, starting with mathematics and statistics and English learning areas.			
<b>Senior Secondary (including NCEA)</b>	Use the subject learning matrices to inform your teaching, learning, and assessment programmes for NCEA Level 1. Draw on refreshed learning areas as they are made available.  Use the resources on <a href="https://www.ncea.education.govt.nz">ncea.education.govt.nz</a> to support your planning.	Draw from Te Mātaiaho to consider your approach to NCEA review and design.  The new NCEA Level 1 materials are now used for assessing all schools and kura. The literacy and numeracy requirements of the NCEA are formally separated from the certificate at Levels 1-3 and the 20-credit co-requisite becomes mandatory.	Use the subject learning matrices to inform your planning for teaching, learning, and assessment programmes for NCEA Level 2.	The new NCEA materials are now used for assessing NCEA Level 2 for all schools and kura.  Use the subject learning matrices to inform your planning for teaching, learning, and assessment programmes for NCEA Level 3.	The new NCEA materials are now used for assessing NCEA Level 3 for all schools and kura.  Use the NZC learning areas to inform your course planning with the subject learning matrices.

# 4. 学校カリキュラム開発支援

## ○教育省による支援

	Build awareness	Grow understanding	Implement change	Embed and sustain
<b>Understand the 'why' – realise the vision</b>	We are making connections between our school or cluster and <b>Mātaurangi</b>   the guiding kaupapa, <b>Mātaihuku</b>   creating a foundation, and <b>Mātairitipu</b>   vision for young people.	We are identifying opportunities to strengthen our own vision and direction.	We are refreshing our school or cluster vision with tangata whenua, ākonga, whānau, and the community to ensure it describes what high aspirations and success look like for them.	We are anchoring our curriculum in the vision and understanding of success we share with tangata whenua, ākonga, whānau, and the community.
<b>Grow authentic, reciprocal local relationships</b>	We are finding common ground within our school or cluster from which to build relationships with tangata whenua and whānau.	We are committing to building trusting, professional relationships as a platform for engaging with tangata whenua and whānau, to strengthen our school curriculum.	We are developing relationships with tangata whenua and whānau, and together we have established ways to engage.	We are growing enduring and reciprocal relationships with tangata whenua and whānau as partners in our school curriculum.
<b>Collaborate with community</b>	We are building our awareness and understanding of Te Mātaiaho with tangata whenua, ākonga, whānau, the school board, the community, and our cluster.	We are talking with tangata whenua, ākonga, whānau, the school board, the community, and our cluster about how we can work together in response to Te Mātaiaho.	We are planning to collaborate with tangata whenua, ākonga, whānau, the school board, the community, and our cluster to respond to Te Mātaiaho and the Common Practice Model in our strategic planning.	We are partnering with tangata whenua, ākonga, whānau, the school board, the community, and our cluster as we strengthen the ways learning happens across the learner pathway, from early years to beyond school.
<b>Strategically plan for ākonga success</b>	We are discussing <b>Mātaioho</b>   school curriculum design and <b>Mātaiahikā</b>   relationships with tangata whenua and the role national curriculum plays in our school curriculum.	We are reflecting on how we can strengthen strategic goals and processes, using the guidance on curriculum design and review.	We are using Te Mātaiaho to lead our review of our school curriculum and to design strategic goals and processes.  We are using the CPM to lead our review of teaching practice for literacy, communication and maths to design strategic goals.	We are using Te Mātaiaho to drive our strategic planning and the review of our school curriculum. This is informed by student progress in literacy, communication and maths.
<b>Strengthen cultural and inclusive capabilities</b>	We are identifying inequities and explore assumptions, beliefs, and practices that impact the progress and achievement of every ākonga.  We are identifying professional learning needs and strengths within our staff or cluster in relation to cultural and inclusive capabilities.	We are exploring ways to challenge bias and inequities, give effect to Te Tiriti o Waitangi, and deliberately remove barriers to learning and wellbeing.  We have identified internal and external professional support to help our staff engage with Te Mātaiaho.  We are identifying opportunities to strengthen our cultural and inclusive capabilities with our colleagues and wider professional networks.	We are starting to address bias and inequities, give effect to Te Tiriti o Waitangi, and remove barriers to learning and wellbeing.  We have a coherent professional learning plan to support our staff and community to implement Te Mātaiaho.  We are deliberately strengthening our cultural and inclusive capabilities in collaboration with colleagues and wider professional networks.	We are committed to ongoing personal and professional learning required to realise Te Mātaiaho, supported by the Common Practice Model.  We are engaging in and sharing collaborative inquiry, problem solving, and professional learning in our school, cluster, and wider professional networks.
<b>Understand and use the progression model and the UKD elements</b>	We are becoming familiar with <b>Mātairea</b>   supporting progress and <b>Mātaiaho</b>   learning areas, including the way literacy, communications and maths is woven through.  We are using the supports and resources currently available to build our awareness and understanding of the progression model and how to weave Understand, Know, and Do (UKD) throughout teaching and learning.	We are trying out ways to design learning using the progression model and UKD elements in our existing programmes. We are reflecting on our practices in connection with the Common Practice Model.  We are strengthening the way we notice, recognise, and respond to ākonga learning and progress, including focussing on literacy, communications and maths.	We are using the progression model and UKD elements in the design of our existing learning programmes and we are beginning to identify ways to create new experiences.  We are working with ākonga and whānau to strengthen the way we notice, recognise, and respond to learning and progress.	We are offering rich, relevant and inclusive learning experiences with ākonga across the schooling pathway.  We are using the progression model and assessment for learning approaches to help us notice, recognise, respond to, and report on ākonga success and next steps.  We are using evidenced, informed practices to teach literacy, communications and maths.
<b>Make time for change conversations</b>	We have identified ways to discuss Te Mātaiaho and the Common Practice Model regularly with staff and leaders as learners.  We understand that people will need multiple opportunities to explore, talk about, and consider the change.	We are preparing for important conversations that may challenge the status quo, and we are making time to discuss and share ideas and questions.  Leaders are learning alongside staff and staying open to dialogue.	We have planned for regular and ongoing active conversations and for feedback loops.	We are engaging in open, constructive conversations about the opportunities for sustained improvement.

# 4. 学校カリキュラム開発支援

## ○教育省による支援

### Leadership guidance

From Term 3, 2023	From Term 3, 2024	From Term 3, 2025	From Term 3, 2026
Guide 1 - to build awareness	Guide 2 - to grow understanding	Guide 3 - to support implementation	Guide 4 - to embed and sustain

Leaders can expect further items in the *Leading Local Curriculum Guide* series to be released annually from 2023. Topics align to the Readiness Tool and will include:

- Ensuring hearts lead minds - engaging with the 'why' of the refreshed curriculum
- Growing authentic, reciprocal relationships with tangata whenua, whānau, and the community
- Collaboration with community
- Strategic planning and school curriculum design for ākonga success, including within NCEA
- Strengthening cultural and inclusive professional capability
- Understanding and using the progression model and the UKD elements (Understand, Know, and Do)
- Leading change conversations.

#### The guides will:

- address emerging questions and issues
- enable self-directed, guided, and supported professional learning
- continue to be available for some time beyond the implementation period to ensure change is embedded and sustained.

The [Leading Local Curriculum Guides for Aotearoa New Zealand's histories](#) are available now.

### Teaching guidance

From Term 3, 2023	From Term 3, 2024	From Term 3, 2025	From Term 3, 2026
Supports for English, mathematics and statistics, and social sciences	Supports for science, technology, and the arts	Supports for health and physical education and learning languages	Ongoing supports in response to feedback, with a focus on integration

Kalako can expect the progressive release of fit-for-purpose teaching guidance for each refreshed learning area. This will include:

- examples of how to design learning within and across the learning areas, interweaving mātauranga Māori, literacy, numeracy, the key competencies, and the values
- examples of topics and task design using progress outcomes
- videos, case studies, and stories demonstrating teaching in action using the progression model
- support for using assessment as an integral part of teaching and learning
- planning templates
- self-directed and guided professional learning modules
- links to existing resources, supports, research, and initiatives
- links to *Te Whāriki* and to NCEA and Tertiary Education Commission supports.

#### The guidance will be designed to:

- strengthen kalako practice, confidence, and capability to design rich learning that enables success for all ākonga
- foster inclusive, culturally responsive, and mana-enhancing practice.

Teaching guidance is available on the NZ Curriculum Refresh and Aotearoa NZ's histories websites.

### Teaching resources

Kalako support material will be developed to support learning within each refreshed learning area. The first set of [teaching resources](#) is available on the Aotearoa New Zealand's histories website.

### Community guidance

Ākonga, whānau, school boards, tangata whenua, communities, and others in the sector can expect supports and resources to help them to connect with and understand the key changes. These resources will:

- describe the changes and the timeline
- explain the concept of educational partnerships and how to get involved in the refresh
- be easy to locate and provide easy access to all information
- be available in a range of languages.



## 4. 学校カリキュラム開発支援

### ○学校支援機関等による支援

- 研修プログラムの提供
- 評価ツール等の開発・提供
- Networks of Expertise

教科に関する諸団体やピア・ネットワークが、所属するメンバーを専門家として他の支援を必要とする教師へつなぎ、支援提供を支援するシステム。

Tātai Aho Rau

# uLearn23

4-6 October 2023  
Due Drop Events Centre(Auckland)  
By CORE Education











# Appendix

- ◆ The New Zealand Curriculum

[Kia ora - NZ Curriculum Online \(tki.org.nz\)](http://tki.org.nz)

- ◆ Refreshing The New Zealand Curriculum

[Refreshing The New Zealand Curriculum | Curriculum Refresh \(education.govt.nz\)](http://education.govt.nz)

- ◆ NZQF

[About the NZQCF - NZQA :: NZQA](http://nzqa.govt.nz)

- ◆ NCEA

[NCEA and secondary :: NZQA](http://nzqa.govt.nz)

- ◆ Welcome to Assessment Online

[Home - Assessment \(tki.org.nz\)](http://tki.org.nz)

- ◆ e-asTTle

[Home - e-asTTle \(tki.org.nz\)](http://tki.org.nz)